

# 第2期そらいろプロジェクトの概要

市街化調整区域における  
新たなコミュニティ創造

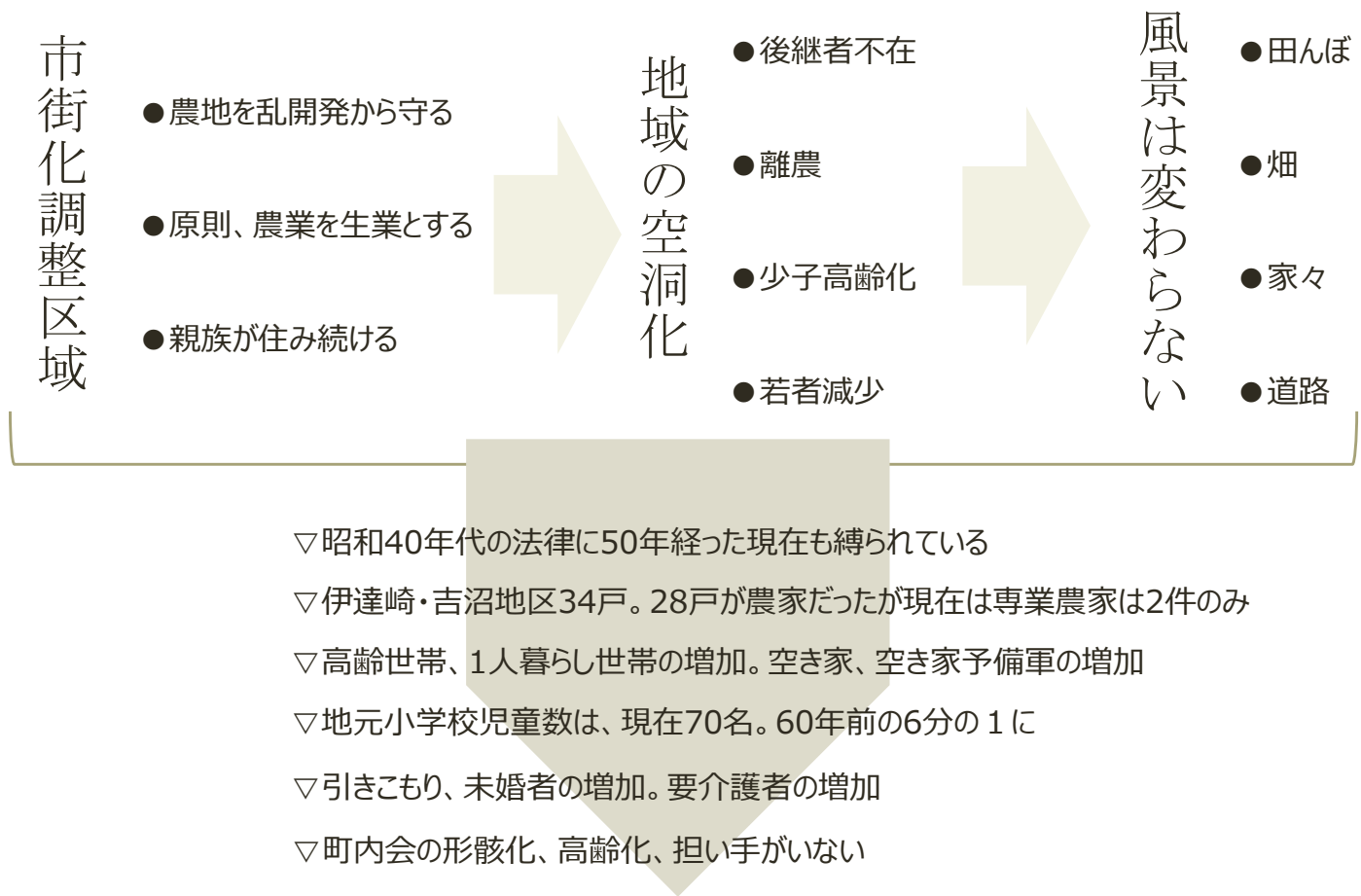
桑折町大字伊達崎地区に開設された  
そらいろデイを拠点にした次期構想

令和5年7月

特定非営利活動法人そらいろ

代表理事：石幡 亮

●そらいろの故郷 = 伊達崎地区の現状



## コミュニティ消滅の危機

●第一期 そらいろプロジェクト始動 令和元年～現在まで

■プロジェクトの拠点

- ▽代表理事の実家  
⇒空き家予備軍 93歳の母親が一人暮らし
- ▽築110年の古民家  
⇒用途は養蚕住宅
- ▽55アールの田圃  
⇒コメ農家に生産依頼
- ▽15アールの畑地  
⇒耕作放棄地となっていた
- ▽宅地1,600平米と庭  
⇒祖父、父が造営した庭
- ▽石蔵、土蔵と父の蔵書6000冊  
⇒父が蒐集したさまざまなジャンルの書籍類  
石蔵、土蔵は先の震災で被災し解体

六〇年前に離農し荒れ放題だった養蚕住宅

介護を柱に豊かな人のつながりをつくる



◆そらいろデイ

- ▽地域密着型通所介護  
⇒定員8名 生活リハビリ

◆ともしこカフェ

- ▽認知症の方、家族の居場所

◆こでらんに湯

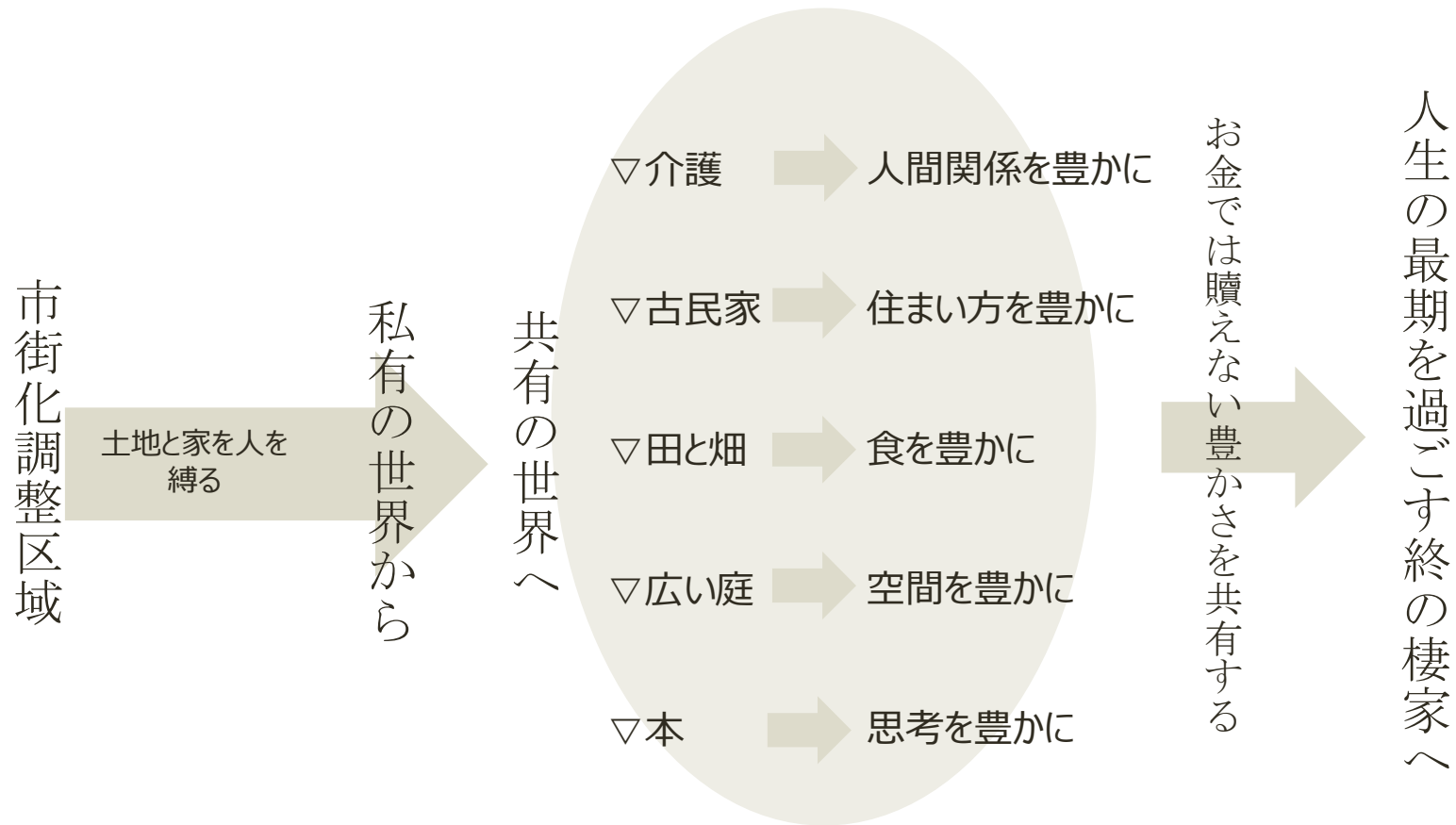
- ▽自立式ひのき浴槽入浴体験

◆たむろ場文庫

- ▽里村の中の小さな図書館

カイコからカイゴへ

●第二期 そらいろプロジェクトの方向性 テーマは「共有地をつくる」そして終の棲家へ



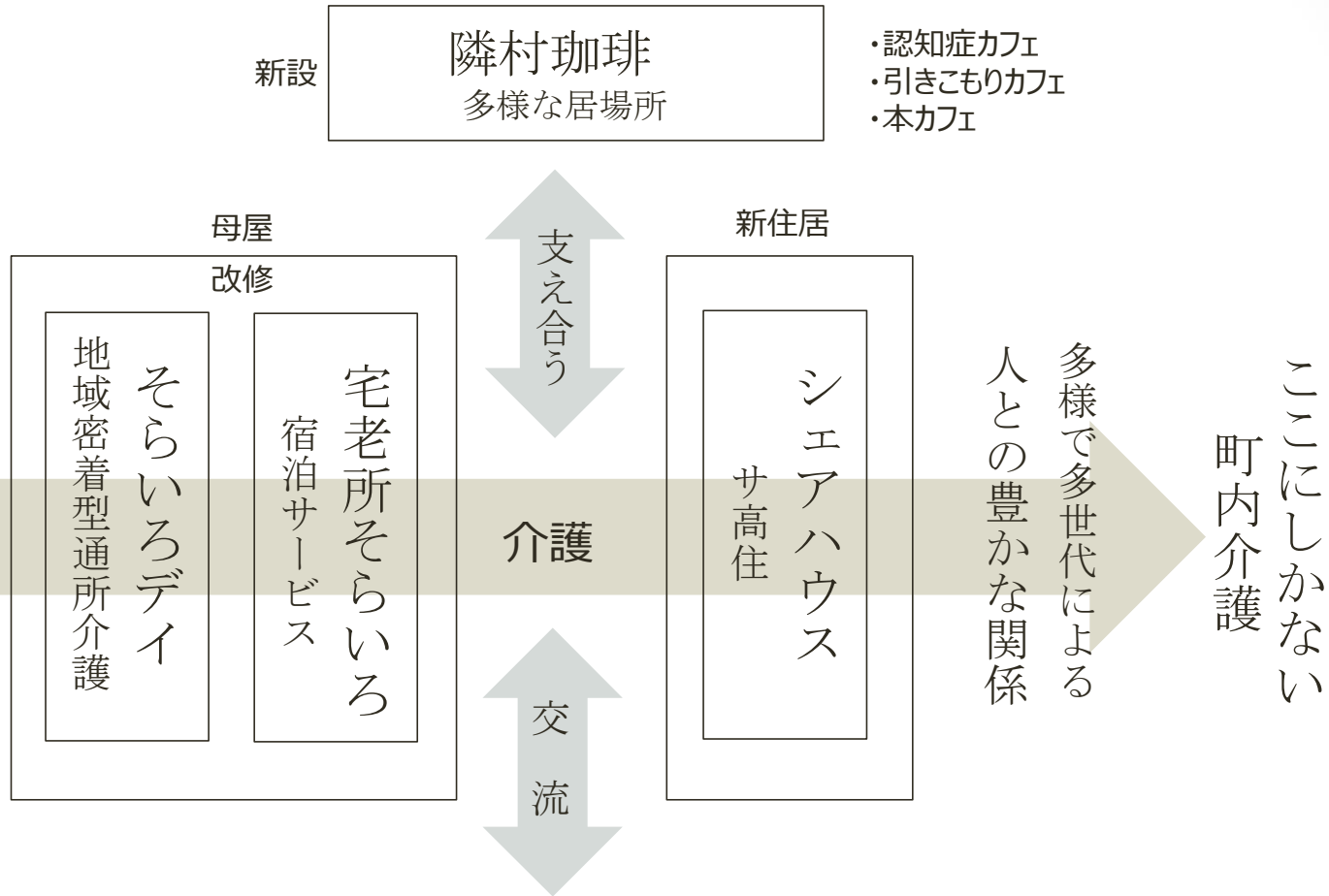
誰のモノでもあり、誰のモノでもない  
共有地

そらいろベースの創造

●そらいろベース 施設展開のアウトライン

◆地域住民

子どもも大人も  
要介護者も障がい者も  
不登校も引きこもりも



◆域外住民

新設

隣村珈琲  
多様な居場所

- ・認知症カフェ
- ・引きこもりカフェ
- ・本カフェ

母屋  
改修

そらいろデイ  
地域密着型通所介護

宅老所そらいろ  
宿泊サービス

支え合う

新住居

シェアハウス  
サ高住

介護

多様で多世代による  
人との豊かな関係

ここにしかない  
町内介護

交流

新設

ガレッジたむろ場  
多目的スペース

- ・遊び
- ・学び
- ・創造する場

・食堂や農業体験、セミナー等